

第3学年 松竹梅組 国語「へんとつくり」略案

指導者 伊藤雅代 千葉誠二 齋藤由紀子

1. 日 時 9月20日(水) 2校時(9:20~10:05) 竹組 3校時(10:30~11:15) 梅組
9月21日(木) 2校時(9:20~10:05) 松組
2. ねらい 漢字のへんについて知り、同じへんが使われている漢字について考えようとする。
3. 本時の実際 1/2

時 間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援	備 考
10:30	1. 漢字の組み立てゲームをする。	◇ カードから自由に発想し、積極的に自分の考えを発表するよう声かけをする。	◇ 漢字のへんとつくりに関心をもつことができるように、ゲーム形式でカードを提示する。	○へんとつくりのカード
10:40	2. へんについて知る。	◇ 児童の理解を助けるために、センターの先生の説明に合わせ、カードを提示したりする。	◇ いくつかのへんを例にして、呼び名や意味、へんは漢字の左側にあることなどを説明する。	○言葉やカードによる説明
10:45	3. 学習課題をつかむ。 同じへんをもつ漢字集めをして同じへんが使われているわけを考えよう。			
10:47	4. 同じへんをもつ漢字集めをする。	◇ 使われているわけについて考えやすくするために、へんの種類別にノートに書くように話す。		○教科書の付録のページ
11:02	5. 集めた漢字に同じへんが使われているわけを話し合う。	◇ 理由をはっきりさせて、話し合うように促す。 ◎ 漢字のへんについて知り、同じへんが使われている漢字について考えようとしている。	◇ 集めた漢字になぜそのへんが使われているか、児童から質問が出た場合、質問に答える形で説明する。	○言葉やカードによる説明
11:10	6. ふりかえりをする。	◇ 何人かの児童の発表を通して、次時への見通しをもつことができるようにする。		